

# 本日のプレゼンテーションの目的

①構想をともに実現する仲間作り  
(賛同者・応援者・協業者など)

②アイデアのブラッシュアップ

# SDGsとソーシャルインクルージョン

## SDGs



## ソーシャルインクルージョン (社会的包摂)

- 全ての人々が社会に参画する機会を持ち、共に生きていくこと
- 社会的に弱い立場と言われる人々を排除するのではなく、社会の一員として包み支え合うこと。



# 自己紹介

山田 芳毅(やまだ よしき)

1991年 広島県広島市生まれ。  
立教大学社会学部卒業

株式会社マイナビにて約3年ほど大学生向けメディアの編集&事業企画。

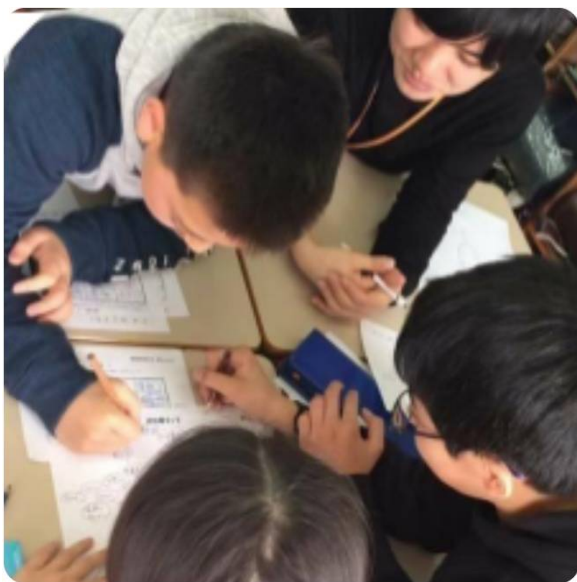
旧・株式会社リクルートキャリアにて約3年ほど転職エージェントのキャリアアドバイザーや企業向け採用コンサルティング。

その後、半年間キャリアコーチングの個人事業主。

2021年10月にKEIPE株式会社へ入社。就労支援に取り組む傍ら、障害者向けに自己理解・キャリア関連のワークショップを自社内で開催。

活動理念は、

**「生きづらさを抱える人が、心身を健康にし、社会で居場所を築くことを支援する」**  
**「生きづらさを抱える人も、幸せになれるシステム(組織/地域)を創る」**



# KEIPEの紹介

■会社名：KEIPE(ケイプ)株式会社

■設立：2017年10月(現在5期目)

■所在地：山梨県(甲府市,笛吹市)

■事業内容：福祉事業(障害者就労支援事業)を中心に、事業多角化中

■社員数：健常者26名(パート含む),障害者約90名<全員パート契約>

■平均年齢：31歳 (社長も今年度32歳代)

■社風キーワード：挑戦/若い/走りながら考える/フランク

# 山田が取り組んでいること



ワークショップ風景

Q1小さい頃(0~12歳)に好きな遊びは何でしたか?

Q2学生時代(13歳~学校卒業まで)は何に夢中でしたか?

ワークシートイメージ

## 1.ワークエンゲージメント向上のためのワークショップ開催

→

2022年1月から週2回ペースで障害者対象に、ワークエンゲージメントの向上のため対話形式のワークショップを実施中。

ジョブクラフティングや自己理解などが題材。

## 2.理念浸透

→

今後、会社の事業多角化&社員急増に伴う組織崩壊を防ぐため、これまで大切にしてきた文化が無くならないよう、健全者への理念浸透施策の企画&実施を、経営者候補から依頼を受け着手中。

# 障害とSDGs



# SDGs漫才ワークショップの紹介



## ■内容

笑いを通じて多岐にわたる社会問題の解決に取り組んでいる吉本初の国際夫婦漫才コンビ・フランポネによる授業。

SDGsの17の開発目標などを漫才にどのように取り入れるかや、笑いのテクニックなどを実践を交えて説明。

参加者は、実際にSDGsに関連したコンビ名やネタを発表し合う。

## ■想定参加者

- ・ 障害者
- ・ 企業人
- ・ 大学生

## ■狙い

① SDGsについて、参加者により深く理解いただくこと

② 笑いを通じて学生や企業人に障害者との交流を深めていただくこと

# 現時点での登場人物一覧





# 影山 摩子弥 教授の紹介



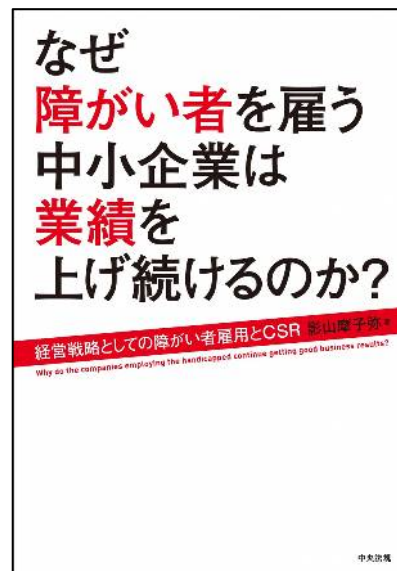
## ■経歴・研究活動等

早稲田大学商学部卒  
1989（平成1）年 横浜市立大学商学部専任講師、  
助教授（1990年）、教授（2001年）を経て、  
2005（平成17）年より国際総合科学部教授、  
2009年より都市社会文化研究科教授。

## ■研究テーマ

元々経済原論・経済システム論を専門としており、  
2004年ごろからCSRや障がい者雇用を研究している。

研究・教育の傍ら国内外の行政、企業、NPOからの  
相談に対応する他、CSRの認定制度「横浜型地  
域貢献企業認定制度」を設計するなど地域活性化  
支援も行っている。



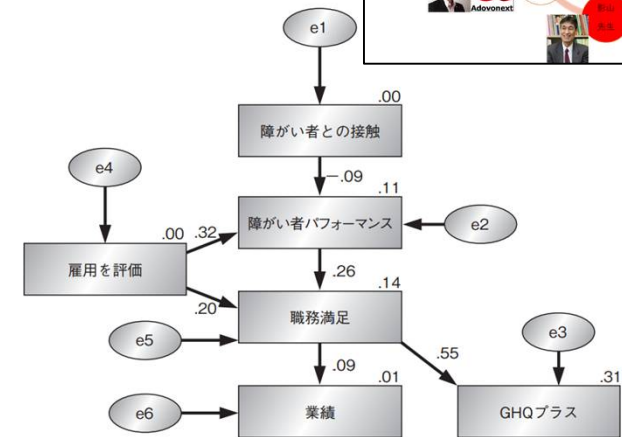
# 影山教授の研究紹介

■論文「障がい者雇用の『組織内マクロ労働生産性』改善効果(2012)」より

→

障害者は単体としては健常者と比べ生産性は低いかもしれないが、他の社員にプラスの効果を与え、社内全体としての生産性を高めることを証明。

【パス図】



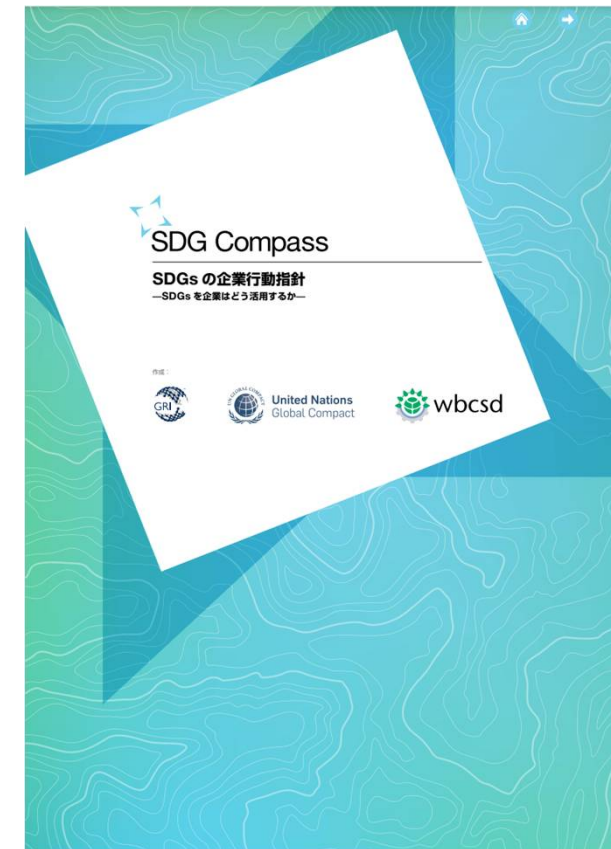
■論文『障がい者の就労が健常者の業務パフォーマンスに与える影響 ——M. I. E モデルの中核企業における調査をもとに——(2020)』より

→

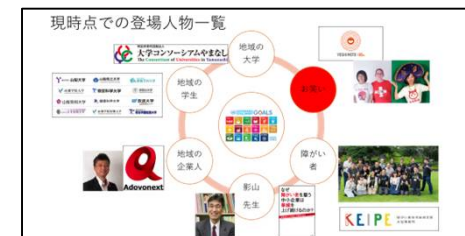
社内で就労する障害者は、健常者社員の倫理観や支援姿勢、協力志向、心理的安全性の向上へ影響し、結果として健常者社員の業務パフォーマンスを上げることを証明。



# SDGsと企業活動



# 講師(候補)の芸人紹介



フランポネ(マヌー島岡/シラちゃん)

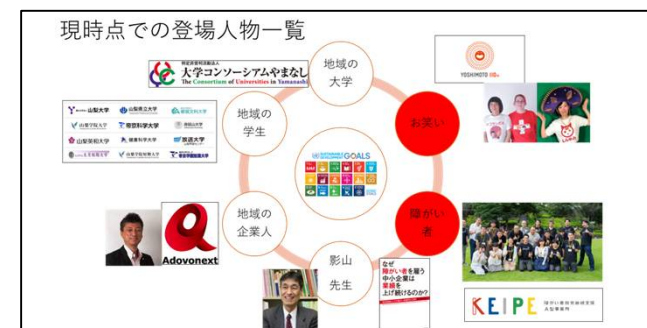
日本で唯一フランス語で漫才ができる国際夫婦漫才コンビ。

マヌー島岡氏は、元商社マンであり、ベルギーの大学院卒、5ヶ国語（英・仏・西・伊・蘭）が堪能。  
シラちゃん氏はスイス人（ジュネーブ出身）で、母国語はフランス語。

「漫才で覚える英語！」のプログラムを様々な大学や地域で開催するなど、「お笑い」を通じた社会貢献で注目を浴びている。吉本興業所属。

画像引用：<https://thetv.jp/person/2000073497/>

# 「お笑い」と「障害」の繋がり



①笑いは人を繋げる架け橋となる

→障害者と健常者の心の壁を無くす上で、「お笑い」が機能する

②お笑いは精神的健康になる

→

ユーモアには、ストレス緩和効果がある

精神疾患の予防・治療にも役立つ

③障害者文化芸術推進法

法律の目的は「文化芸術活動を通じた障害者の個性と能力の発揮及び社会参加の促進を図るため」

# 大学・学生とSDGs

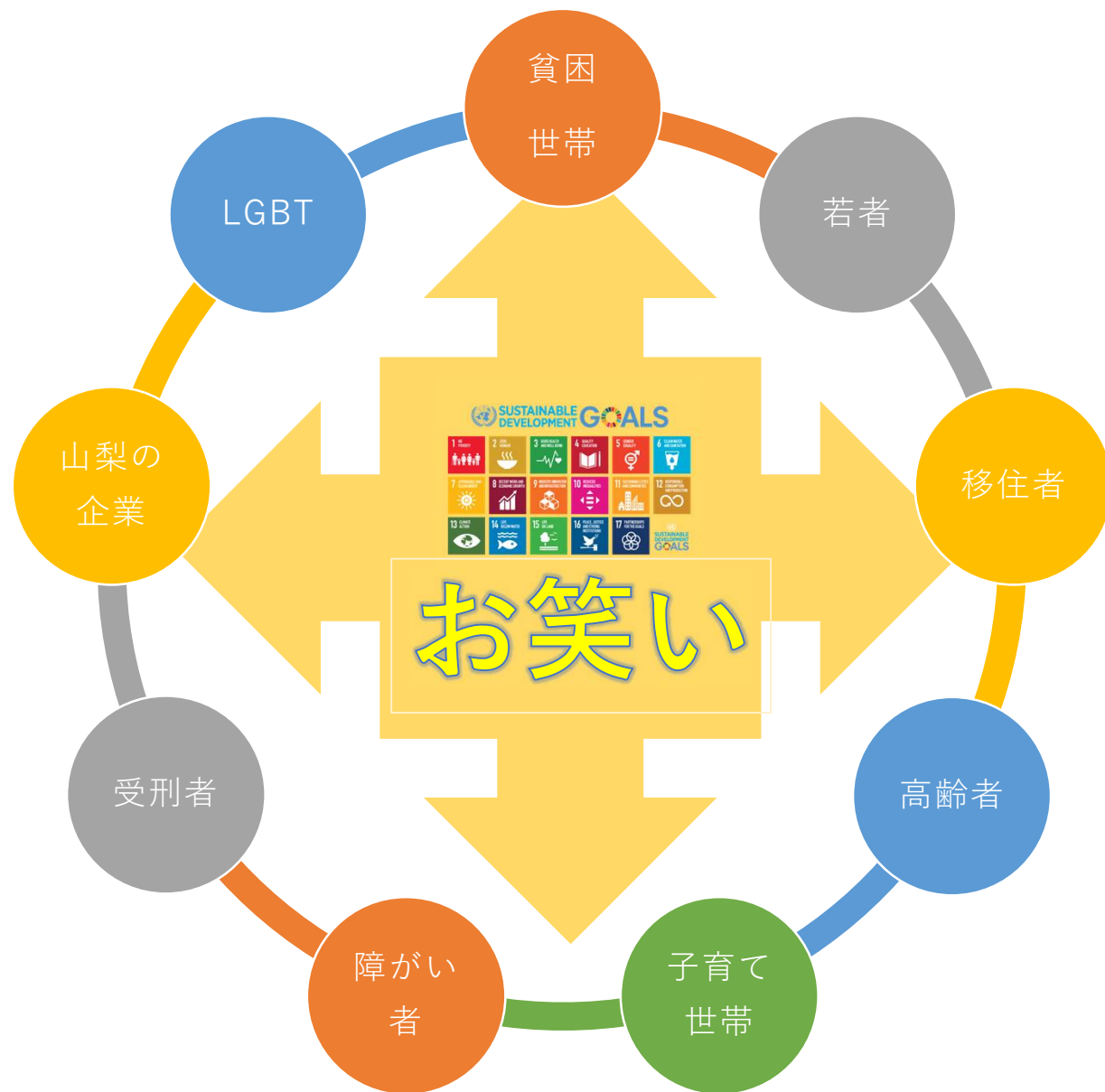


## 本PJの概要

<b>PJの目的は何か？ &lt;What&gt;</b>	山梨において、 ①SDGs ②障害&影山先生の研究成果(障がい者雇用に中小企業の経営改善効果があることを広め、同時に企業人や学生が持つ障害者との心の壁を無くすため。
<b>このプロジェクトが 今の山梨に必要な理由は何か？ &lt;Why&gt;</b>	・ 障害者雇用を通じて経営改善をできる中小企業を啓発することが、産業の活性化や福祉の充実など地域の魅力を伸ばし、移住者が増えることにも繋がるから。
<b>最終目標、中間目標は何か？ ？</b>	・ 障害者0名企業への採用促進 ・ 障害者雇用に取り組む企業に対する、組織開発研修の実施  ※アイデア膨らませ中
<b>いつまでに実現するか？ &lt;When&gt;</b>	M1グランプリへの応募は8/31まで。
<b>予算&lt;How much&gt;</b>	・ 吉本芸人の旅費（実費）、謝金（食事代程度）
<b>誰が取り組むのか？&lt;Who&gt;</b>	・ チーム山梨(山田、山梨の障害者就労支援施設、山梨の企業人、山梨の学生、+ @) ・ 影山先生、吉本芸人(フランポネなど)

# 将来構想

障害者に限らず、  
様々なマイノリティや  
生きづらさを抱えてい  
る方々・市民の断絶を  
笑いの力で繋げていき、  
誰一人取り残さない  
社会を創りたい。





皆さまのアイデア・お力を  
お借りしたいです！！！！！！